

「情熱」「行動力」「アイデア」の新しい風で、みなさんと一緒にまちづくり



清流だより

第15号

令和4年5月1日発行

【討議資料】

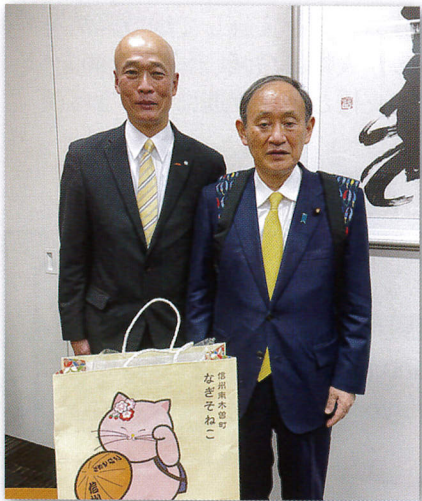
発行責任者：向井ひろあき後援会 木村左右和
連絡 先：南木曽町読書2740の2 電話 0264(57)2475

もっと
南木曽を元気に!

日々の活動の様子は
「向井ひろあきブログ」
「町 HP 町長の部屋」で
発信中 ⇨



コロナ禍を乗り越えて



菅義偉元総理と面談の折



後藤茂之厚労大臣に
大臣室で陳情の際

厚生労働大臣



盛土条例について長野
県・県議会へ大畑俊隆
県議と共に



木曽郡町村会で
中央省庁へ要望



篠崎先生から医院で
コロナワクチン接種



青山中津川市長と国道 19 号
要望《右》熊谷阿智村長と国
道 256 号要望《上》



木曽川上流河川事務
所長・ダム統合管理
事務所長に治水要望



水野先生に
知事表彰を伝達



町制施行 60 周年記念式典
表彰の皆さんと

南木曽町
(一社)日本建設機械レンタル協会長野支部
災害時における資機材レンタルの協力に関する協定締結式



日本で最も美しい村連合の
再審査で先生方に直接説明



新たにこども園がスタート



消防車両の伝達式《下》
建設レンタル協会と災害時
協定《右上》



地元こだわった
妻籠町並み交流センター
(妻籠分館)



ラッピングバスのお披露目で



マレットゴルフ大会



沼田砂防堰堤の完成式で



【続くコロナ禍の中、予防と対策さらには 若者の定住促進を】

なかなか収まらない新型コロナに加え、ロシアの軍事侵攻といった火種が加わって世界的に不安定な情勢が続いていますが、皆様にはお元気で過ごしのことと存じます。日頃は後援会活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。後援会活動もコロナ禍で思うようになりませんが、ご意見・ご提案などあれば気軽に本人または役員にお願いします。

後援会長 木村左右和

1月に町内で発生したコロナの集団感染も一時的なものとなり、他地域に比べると落ち着いた状況にあります。引き続き対策本部を中心に迅速な対応で予防対策の徹底を図りながら、状況に合わせた社会経済活動の回復に努めます。新年度もワクチン接種など国の動向に適切に対応していくと共に、お店などが各自で販売できるお得な商品券で

観光・飲食事業者支援をするなど各種経済対策を実施して地域経済を支えていきます。コロナ禍の中で出生数が大幅に激減(全国的な傾向)したことを踏まえ、一層の若者・子育て支援と定住促進に繋がる各種施策を推進していきます。

《主な新規事業や検討中の取り組みから》

コロナへの各種対策(予防、経済対策など)はもちろんのことですが、ほかにも若者や子育て世代への支援と定住につながるよう下記のような事業を進めていきます。

- ・こども園(幼稚園コースの新設、土曜保育拡充、子育て支援の常設、勝野真言先生ワークショップなど)
- ・奨学金返済支援制度の創設(検討中) ・学校徴収金の負担軽減策(一部実施、追加検討中) ・結婚祝金、出産費用助成など子育て支援拡充
- ・県の不妊治療補助に合わせた先進医療対応 ・小中高生タブレットの学習ソフト提供 ・空家実態調査による移住者向空家住宅対策
- ・宅造希望者アンケートに基づくミニ宅造計画(準備中) ・社体LED化 ・田立の滝整備 ・デマンドバスの試行(北部、与川地区)
- ・バス路線の経路変更(右岸道路、近藤クリニック、古根医院経由など) ・与川水道施設統合工事
- ・木曽川右岸道路高瀬橋架替調査、大桑堺トンネル工事準備(いずれも県事業) ・梨子沢大堰堤土砂浚渫 ・妻籠宿防災管取替工事
- ・圃場耕作条件改善事業新設 ・野菜自動販売機設置 ・熊の皮剥対策 ・サル捕獲用大型檻設置 ・芝生公園に向けた調査
- ・町道与川線、大原線、蘭線、富貴畑線、妻籠町中線ほか改良事業、林道秋葉山線改修事業など ・「町誌」「広報誌縮刷版」の編集 ほか

このほかにたくさんあります。

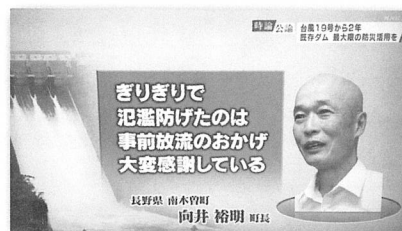
詳細は町HP(施政方針)を確認を。

http://www.town.nagiso.nagano.jp/list/administration/index_mayor_2.html



◎木曽川長野県管理区間で、整備計画が初めて策定

長期にわたるコロナ禍で活動も思うようにままならないですが、オンラインによる討論会や雑誌への投稿などにより発信に努めています。特に砂防や木曽川の防災については積極的な整備について意見を述べ、郡内でも歩調を合わせて要望活動を行ってきた成果もあって、昨年度長野県が管理する木曽川区間に初めて河川整備計画が策定され、南木曽町からも9名の意見書が出されました。今後とも引き続き機会をとらえては要望を行って、安心して暮らせる郷土づくりに努めていきます。



NHK 全国放送で取り上げられる

《木曽川治水についての要望内容》

- ・流域治水の考え方、特に事前放流の制度には感謝。
 - ・既存ダムを活用した治水操作(事前放流の精度向上、ダムかさ上げなど)の推進。
 - ・懸案だった木曽川整備計画が策定されたことに伴って、護岸整備や河床掘削などの計画的実施を要望。
- 注1) 木曽管内にダムは9つありますが、治水機能があるのは味噌川ダムだけです。
- 注2) 木曽川長野県管内はこれまで整備計画が無かった為に計画的な整備が進まず、長野県が管理する1級河川では整備率が最も低い状況です。

《砂防、治山事業についての要望内容》

- ・南木曽町、上松町、大桑村の木曽川左岸は国直轄の砂防事業対象区域に指定され国が事業を行う一方、右岸は長野県が主体となって行います。また国有林内や砂防指定地以外では森林管理局や県による治山事業が実施されています。
 - ・上記の管理区分に基づいて、国交省・森林管理局・県へ各種要望
- 主な個所 沼田(完成)和合蛇抜沢(工事中)与川・戦沢・妻籠地蔵沢・桂川(以上調査設計中)、向ヶ原・大山・柿其国有林での治山工事(林野庁)など



専門誌への投稿や新聞全国紙にも掲載

【後記】 雪かきに追われた寒い冬も終わりました。去年は3月末に桜が満開となる異常な暖かさでしたが、今年は平年並みとなりひと安心の気がします。「もっと南木曽を元気に」できる町づくりを進められるように後援会も応援していきます。お気軽に皆さんのご意見をお

寄せ下さい。コロナには十分注意の上、皆様のご健勝をお祈りすると共に引き続き後援会へのご支援をお願い致します。(事務局)

*後援会加入希望は、お近くの役員又は事務局まで。